医療安全管理シンポジウム

当院の患者確認の現状と課題

平成22年11月16日

（社）有隣厚生会　富士小山病院
放射線科　大和　充普

富士小山病院

富士小山病院概要

- 診療科目：内科（糖尿病、循環器、漢方外来）、外科、整形外科、眼科、皮膚科、リハビリ
- 一般病棟：39床　介護療養病棟：60床
- 1日の平均外来患者来院数：170人
  （午前診療に多くの患者来院が集中する。）
- 当院からの送迎バス。
- 当院では、電子カルテ化はまだされていない。
- オーダリングシステムもない。

富士小山病院

患者誤認防止マニュアル

患者を呼び出すときは、必ずフルネームで呼び、患者本人に名前を名乗ってもらう。その際には、患者が不快感・不安感を抱かないように十分な説明が必要である。又院内に掲示し、患者の協力を求める。（平成17年5月2日変更）

富士小山病院

同姓同名によるカルテの出し間違えを防ぐ

①ID番号でカルテを出す。

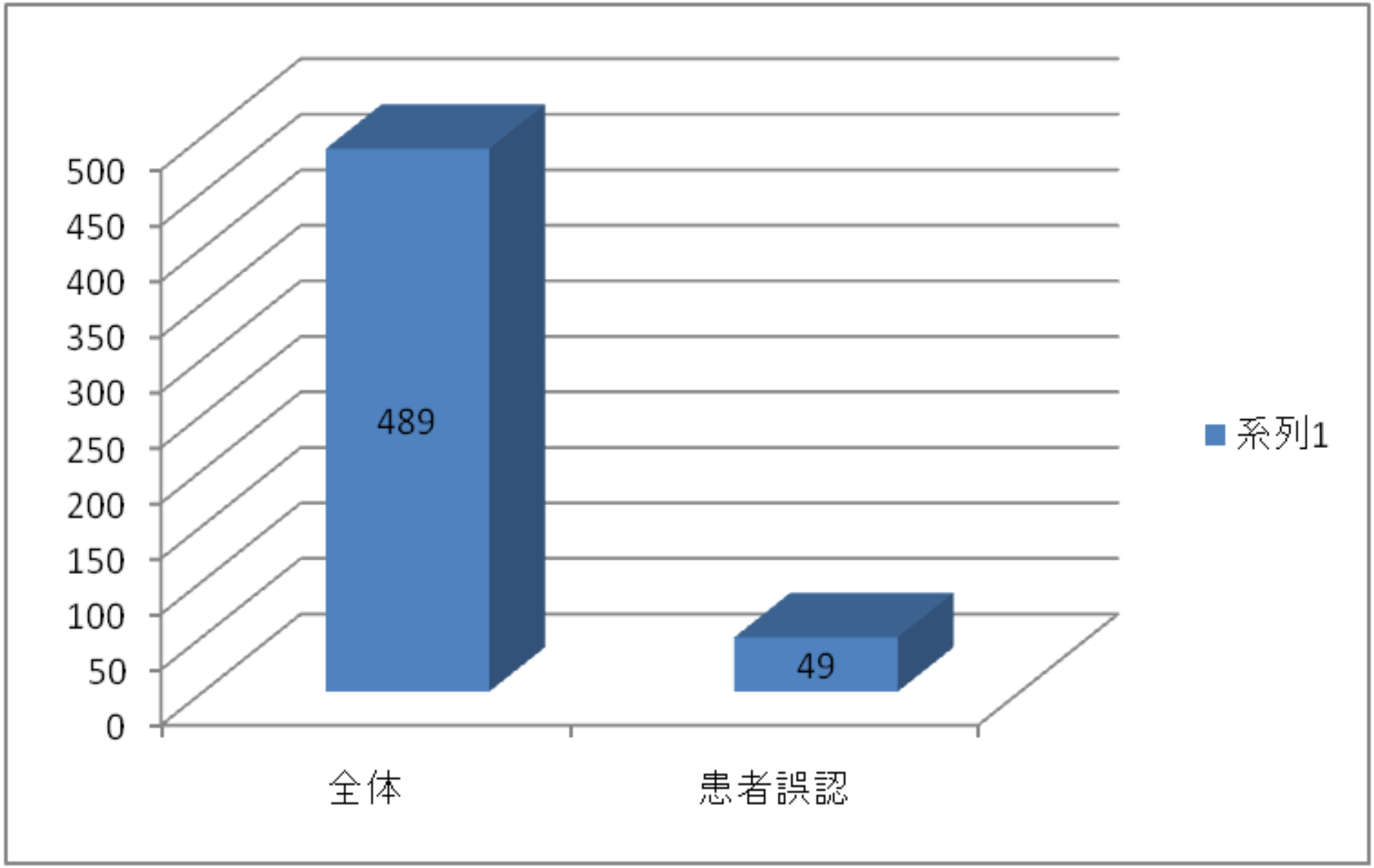
②ID番号で出されたカルテを氏名、生年月日で確認する。

③フルネームで患者を呼び込む。

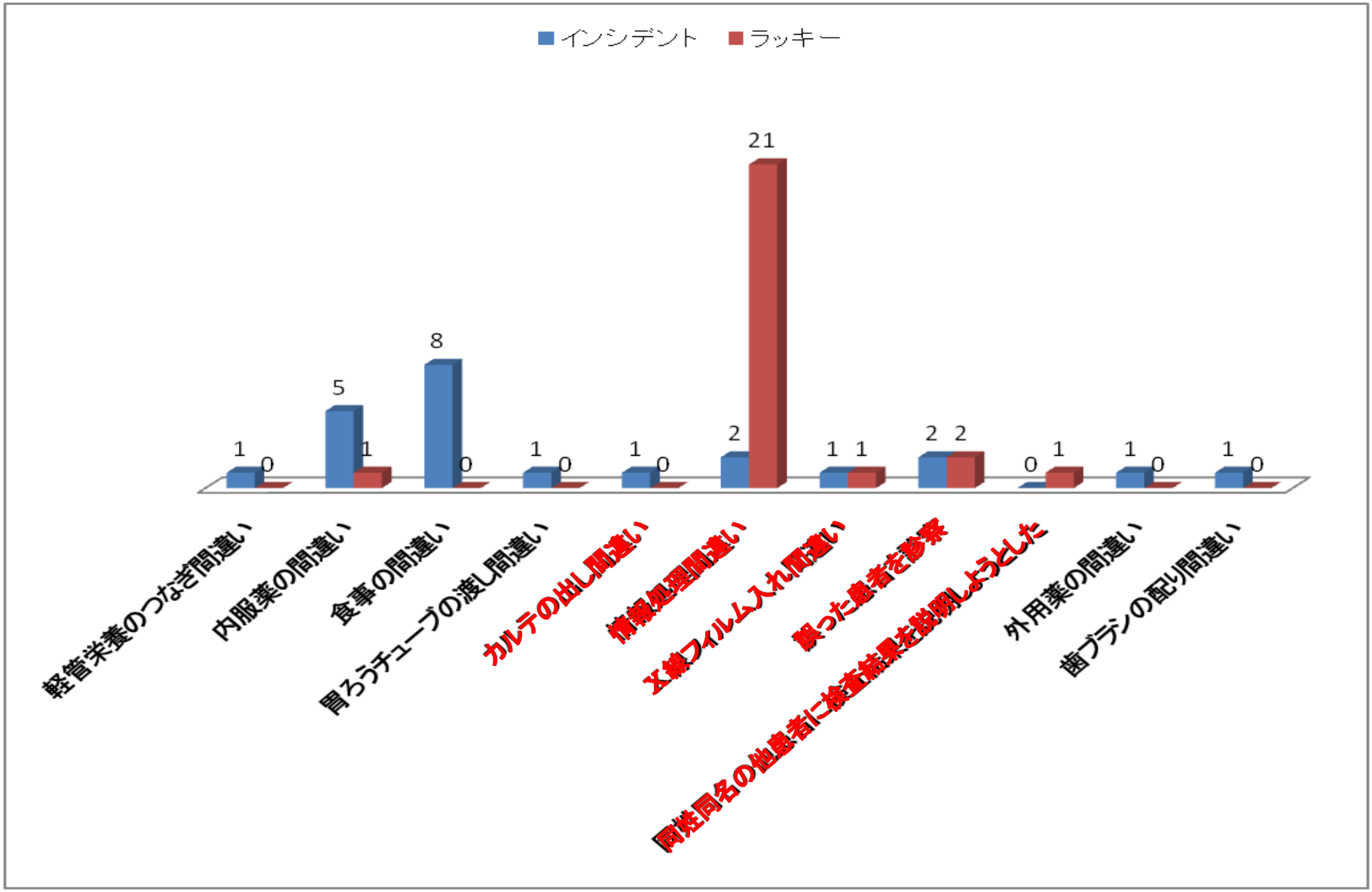
④処置する前に「お名前は？」と患者に確認をする。

富士小山病院

平成21年のインシデント・アクシデント



平成21年患者誤認の内訳



平成22年度医療安全管理委員会目標

①前年度よりレポート枚数を増やす

②ラッキー及びレベルⅠのレポート枚数をレポート送枚数の90%以上にする

③レベルⅡ～Ⅴレポート枚数を前年度より10%減

④患者誤認をしない

⑤声だし、指差確認を徹底する

⑥薬剤ミスをなくす

富士小山病院

活動の実際

- 6月　医療安全管理研修会「患者確認」

- 8･9月　患者誤認防止キャンペーン
  ＊目標④⑤⑥に対し、対策強化月間とした
  ＊ポスター掲示
  ＊キャーンペーン前後で意識調査
  ＊視覚に訴える
  ＊各セクションでの独自の取り組み

富士小山病院

患者確認の実際

・平成22年6月　医療安全管理研修会を実施。
　テーマ「患者確認」

・この研修会で放射線科以外の各セクションが
マニュアル通りの患者確認を怠っていたことが
　明らかになった。

富士小山病院

放射線室における医療安全対策

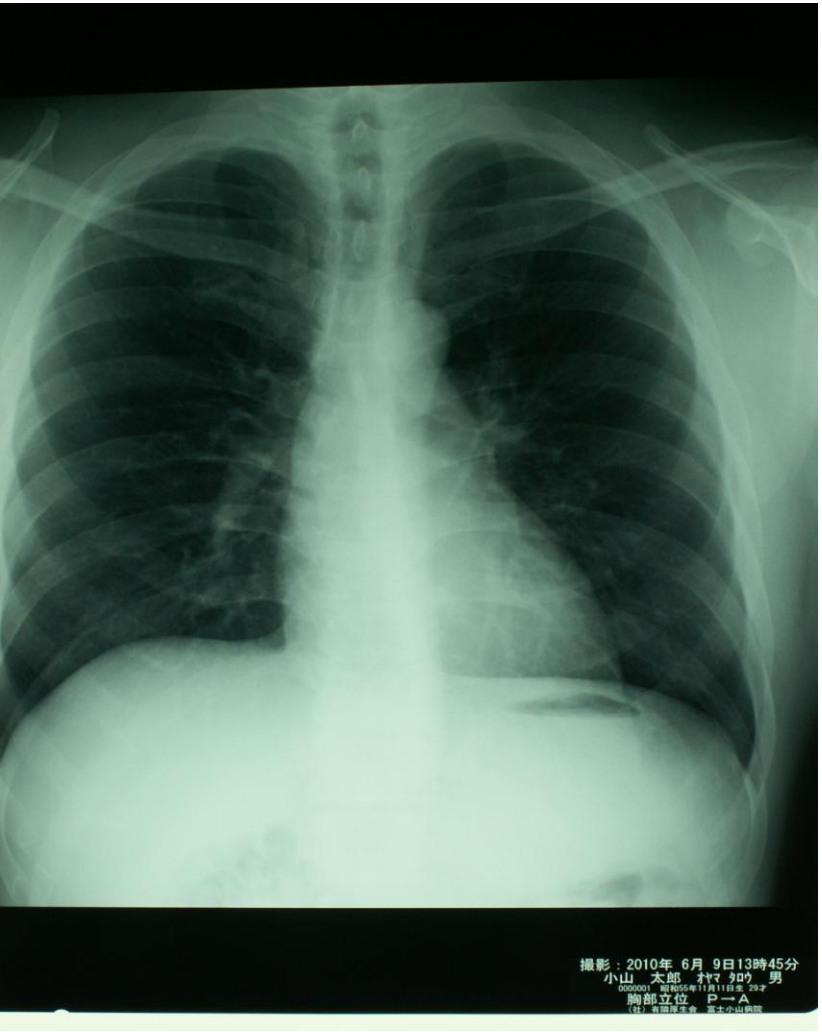
患者確認の現状

・氏名、生年月日を名乗って頂く。

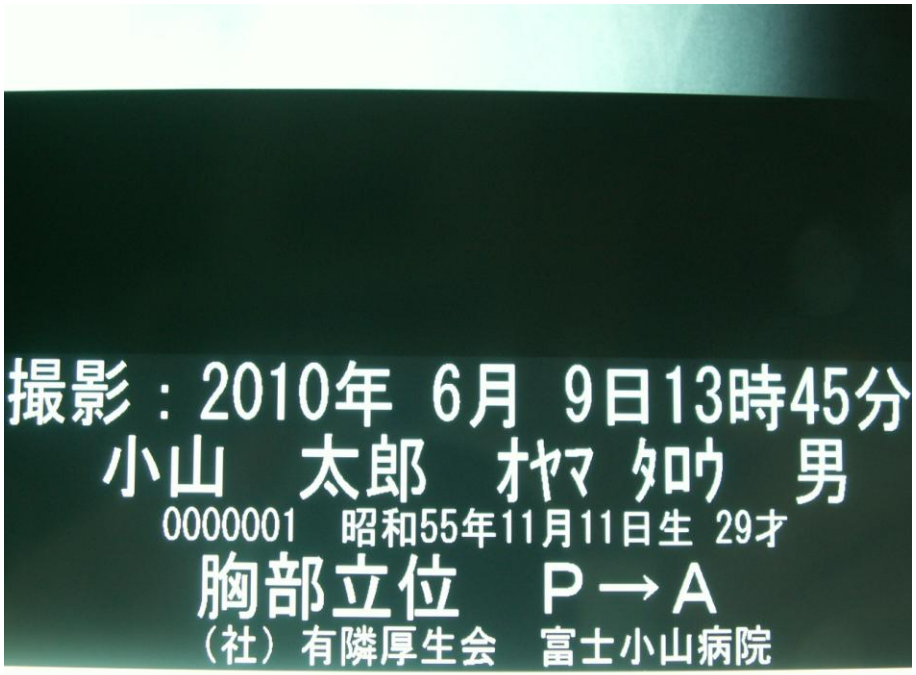
・同時に照射録と照らし合わせる

・新患は漢字名も確認する。

富士小山病院



患者ﾃﾞｰﾀ情報として、
「氏名」、「生年月日」、
「漢字名」、「ID番号」
を使用している。



漢字名を取り入れた理由

- 同性同名が多い地域である。

- 漢字名の種類もいくつかある。

カツマタ:「勝間田」、「勝又」、「勝俣」、「勝亦」

ワタナベ:「渡辺」、「渡邉」、「渡邊」

コミヤマ:「小宮山」、「小見山」、「込山」

富士小山病院

放射線科が患者確認を徹底した理由

- 医事課レセプトコンピューターから取得した患者データ情報に誤りがないか。
- 間違った患者データ情報を入力しないようにするため。
- 患者データ情報として「氏名」、「生年月日」、「漢字名」、「ID番号」を使用している。

富士小山病院

各セクションの取り組み

- 外来・・・朝礼時に注意喚起の呼びかけをした。患者には、医師にも名前を名乗って頂くよう依頼した。
- リハビリ・・・ポスターを入り口付近に張り、意識付けした。
- 薬局・・・朝礼時に話し合いの時間をもった。
- 検査室・・・患者に生年月日・名前を名乗ってもらうよう指導した。
- 医事課・・・患者に名乗ってもらうよう協力を求めた。保険証返却時に、本人に確認してもらうようにした

ご協力をお願いします

同じ苗字の方が多いため、診察室に入りましたら、お名前をお伝えください。患者様の名前を確認するために、ご協力をお願いします。

（社）有隣厚生会　富士小山病院

特定健康診査

STOP！
患者誤認・誤薬ミス
チームで防ぐ医療事故
医療安全管理委員会　キャンペーン対策実施中
期間 H22 年 8 月 1 日～9 月 30 日

確　認

①患者確認をしっかりしましょう！

②患者様に名前を名乗って頂きましょう！

③声に出し、指差し確認をしましょう！

④ダブルチェックをしましょう！

⑤クリィティカル・ポイントで注意！

医療安全管理委員会

キャンペーン前後の比較

- 患者に名前を名乗って頂いていますか？　％

		看護部	コメディカル	事務部	医局
いつもできている	前	32．9	26．3	62．5	16．7
	後	53．9	31．6	68．8	75．0
あまりできていない	前	65．8	73．7	31．3	83．3
	後	44．8	68．4	31．2	25．5

患者確認アンケート

対象：外来・パラメディカル職員32人

医事課・・・7人
外来・・・14人
臨床検査室・・・2人
リハビリ室・・・9人

富士小山病院

Q. いつも「氏名」、「生年月日」、「漢字名」を確認しているか？

単位：%

	①	②	③
医事課	0	11	89
外来	29	21	50
臨床検査室	0	0	100
リハビリ室	0	11	89

①いつも「氏名」、「生年月日」、「漢字名」を確認している。

②いつも「氏名」、「生年月日」を確認している。

③いつも「氏名」だけを確認している。

富士小山病院

Q.医療安全委員会マニュアル内にある、「患者誤認防止マニュアル」を知っていますか？

	知っている	知らない
医事課	57	43
外来	57	43
臨床検査室	0	100
リハビリ室	56	44

単位：%

Q.「患者誤認防止マニュアル」の通り実行していますか？

	実行している	実行していない
医事課	75	25
外来	38	62
リハビリ室	0	100

単位：%

問題点

- 各セクションによって確認方法が違う。
- 各個人によっても確認方法が違う。
- マニュアルが周知されていない。
- マニュアルが活用されていない。
- エンボス印字時点での確認。

富士小山病院

今後の課題

患者誤認防止のために

患者参画は必要不可欠である

↓

①マニュアルの周知徹底と活用

②定期的な職員教育

富士小山病院